

1 学年（前期） 理科 評価・評定計画

学習単元・内容	学習のポイント
<p>■身のまわりの自然を観察しよう</p> <p>※野草の観察</p> <p>1. 植物のくらしとなかま</p> <p>1章 花のつくりとはたらき</p> <p>2章 根や茎のつくりとはたらき</p> <p>3章 葉のつくりとはたらき</p> <p>4章 植物のなかま分け</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な植物や動物に興味をもち、意欲的に調べようとする。 ○観察記録をレポートにまとめることができる。 ○ルーペを正しく使うことができる。 ○顕微鏡の使い方を理解し、正しく操作できる。 ○植物の不思議に興味をもち、植物と動物の違いについてまとめる。 ○花のつくりについて理解する。 ○めしべの子房が果実に、胚珠が種子になること、花がなかまを増やすための器官であることを説明できる。 ○被子植物、裸子植物についてまとめ、共通点と違う点についてまとめる。 ○オオカナダモの葉のプレパラートをつくり、顕微鏡で観察することができる。 ○葉のつき方、しくみ、葉脈の違いを理解する。 ○1つ1つが細胞でできていることを理解する。 ○光合成のしくみについて理解する。 ○根や茎のつくりを理解する。 ○水や養分の運ばれる仕組み、道管と師管の役割について理解する。 ○シダ植物のおもな特徴を説明できる。 ○コケ植物のおもな特徴を説明できる。 ○植物を分類するときの手がかりとなる適切な観点をあげることができる。

評価・評定について				
評価事項	興味・関心意欲・態度	科学的な思考	観察・実験の技能・表現	原理・法則の知識・理解
評定に関する観点の割合	25%	25%	25%	25%
評価事項	授業での取り組み 定期テスト 提出物	授業での取り組み 定期テスト 提出物 小テスト	授業での取り組み 定期テスト 提出物 小テスト	定期テスト 提出物 小テスト

学習単元・内容	学習のポイント
2 光・音・力による現象 1章 光による現象 2章 音による現象 3章 力による現象	<ul style="list-style-type: none"> ○光の反射や屈折の実験を行い、光が水やガラスなどの物質の境界面で、反射、屈折するときの規則性を見いだす。 ○光が水中から空気中進むとき、ある角度を超えると全反射が起こることを理解し、知識を身につけている。 ○凸レンズの働きについての実験を行い、物体の位置と像の位置、および像の大きさの関係を見いだす。 ○音は、空気の振動であることを知る。 ○実験を通して、音の大きさや高さは、発音体の振動の仕方と関係があることを知る。 ○力の働きについて知る。 ○物体に働く2力についての実験を行い、力が釣り合う時の条件を見いだす。 ○圧力の実験を通して、力の大きさ及び面積と圧力の関係を知る。 ○力の大きさとばねののびとの関係を調べる実験を行い、結果を表にまとめることができる。 ○大気圧の生じる理由を説明できる。 ○水圧は水の重さによって生じ、深さが深いほど大きく、あらゆる向きにははたらくことを理解し、知識を身につけている。

評価・評定について				
評価事項	興味・関心 意欲・態度	科学的な思考	観察・実験の 技能・表現	原理・法則の 知識・理解
評定に関する 観点の割合	25%	25%	25%	25%
評価事項	授業での取り組み 定期テスト 提出物 夏課題	授業での取り組み 定期テスト 提出物 小テスト	授業での取り組み 定期テスト 提出物 小テスト	定期テスト 提出物 小テスト

評定	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
人数										